

1 「仕事と介護の両立」のポイント

働く人が、仕事を辞めずに介護を続けるためには、まず自分が働いている労働条件や職場環境を正しく把握し、さらに要介護者のことを知っておく必要があります。

そして、自分が働いている会社が、仕事と生活の調和についてどのように考え、制度や仕組みを作っているか、どこに相談すればよいのかなどの情報を知っていると、困ったときに役立ちます。

また、普段から**「仕事も介護もチームで取り組む」**という意識づくりに努めるとともに、業務の見える化やマニュアル化等により、業務の引継ぎが容易に行える環境を職場全体でつくっていくことが重要です。

実際に介護を行うようになれば、ひとりで抱え込まず、会社や地域の協力を得ながら、仕事も介護も大切にし、さらに自身のプライベートも充実させましょう。

そして、何よりも大切なのは自身の健康です。会社の休暇制度を利用するなどして、心身ともにリフレッシュを図りましょう。



企業は、仕事と介護を両立することができる職場環境をつくるため、ワーク・ライフ・バランスについて企業全体で理解を深めるとともに、制度を利用しやすい職場づくりを進めましょう。

そのためには、従業員の**「介護前」**、**「介護中」**のそれぞれの段階に応じた支援が必要です。

介護はいつ始まるか分かりません。その時に慌てることのないよう**「介護前」**から従業員への意識啓発を行いましょう。

また、従業員の**「介護中」**には、その従業員の仕事を部下や同僚が引き受けることとなります。そのときに業務の引継ぎがスムーズに行えるように、日頃から業務の見える化や知識の共有を行うなど、業務の効率化を図ることが重要です。

このように、仕事と介護を両立できる職場づくりをするために、業務の見直しや効率化を図ることで、生産性が向上し、さらなる企業の成長につながります。

